

報道関係各位（計3枚）

2025年6月10日
株式会社インフォマート

シモジマ、「発注書AI-OCR (invox)」導入で 手入力をなくし、受注業務にかかる時間を半減

月間約5,000枚のFAX発注書を自動で読み取り

デジタルの力であらゆる業務を効率化する株式会社インフォマート（本社：東京都港区 代表取締役社長：中島 健、以下「当社」）は、当社と株式会社invox（本社：東京都新宿区 代表取締役：横井 朗、（以下、「invox」）が協業して提供する、発注書をAIでデジタル化する「発注書AI-OCR (invox)」が、株式会社シモジマ（本社：東京都台東区 代表取締役社長：笠井 義彦、以下「シモジマ」）に導入されたことをお知らせします。



（取材協力）

営業統括本部 特販営業部の皆様

■ シモジマより伺った導入理由・効果等

「発注書AI-OCR (invox)」導入前の課題

シモジマは1920年に包装材料の卸問屋として創業しました。主な取扱商品は紙袋、包装紙、ポリ袋、食品容器、梱包資材、文具事務用品等、自社開発商品を含めておよそ10万点以上、約2,000社から仕入れる豊富な品揃えが強みです。全国営業所管轄の取引先は5,000社以上にのぼり、特注品を含めた幅広い商品を販売しています。

導入前の受注業務では、FAXによる受注が全体の約30%を占め、手作業での受注データ入力にかなりの作業時間をかけていました。商品コードの記載がない商品名のみでの発注書では、カタログから商品コードを探す作業が必要でした。

さらに、基幹システムに入力する際には、コードの記入、入力、見直しと最低3人の人員が必要で、ミスやトラブルがあった場合には更なる人員が必要でした。

導入の決め手

もともとEDI比率80%を目指していましたが、「発注書AI-OCR (invox)」導入前の時点では70%。目標達成と業務効率化のためにも、複数社でOCRシステムの導入を検討していました。「発注書AI-OCR (invox)」は、信頼のあるインフォマートのサービスで安心感があり、サポート体制も万全でした。

まさに、これがシモジマの課題を改善できる仕組みだと思い、トライアルを経てすぐに導入を決めました。既に「BtoBプラットフォーム 受発注」を基幹システムと連携済みだったので、開発費用を抑えて導入できたのも良かったです。

導入効果

手作業による入力的大幅に削減され、作業時間が半減

現在では全体で月間約3万枚のFAXのうち、4,000~5,000枚を「発注書AI-OCR (invox)」で基幹システムに取り込んでいます。手作業による入力的大幅に削減されて作業時間は半分になり、これまで3人以上の人員が必要だったのが、実質1~2人でも対応できるようになりました。

また、業務担当者から「このFAXはOCR処理できるのでは」という提案をいただく機会が増え、デジタル化に前向きな風潮を作ることができました。AIの学習効果を積極的に試す人も多くなり、EDI比率は導入前の70%から80%に向上しました。

今後の展望

現在の「発注書AI-OCR (invox)」での月間処理数は約5,000枚ですが、読み取れるフォーマットを増やして月1万枚を目指しています。そうすれば、1人当たりの生産性もさらに上がる見込みです。今後は適用するFAXのフォーマットを増やし、他の部門でも「発注書AI-OCR (invox)」を使ってみたいです。

たとえば経理では、仕入先から届いた納品書を一部EDI連携していますが、まだまだEDI化できる余地があります。そうした部分もシステムを上手に活用してデータにまとめることで、全社でDXを進めていきたいです。

(事例インタビュー全文はこちら：<https://www.infomart.co.jp/case/0305.asp>)

サービス概要

発注書AI-OCR (invox)

FAXやメール (PDF) で受け取った発注書をinvoxの「発注書AI-OCR (invox)」(※) がデータ化し、「BtoBプラットフォーム 受発注ライト」に自動で連携します。その受注データを「BtoBプラットフォーム 受発注ライト」から基幹システムに取り込むことで、全ての受注をデータ化し、入力作業を削減することができます。

URL：<https://www.infomart.co.jp/asp/seller/ai-ocr/index.asp>

(※)「発注書AI-OCR (invo)」は「BtoBプラットフォーム 受発注ライト」の有料オプション機能です。ご利用の際は「BtoBプラットフォーム 受発注ライト」のIDが必要になります。

■ 会社概要

【シモジマ】

会社名：株式会社シモジマ

代表者：代表取締役社長 笠井 義彦

本社所在地：東京都台東区浅草橋五丁目29番8号

設立：1962年4月26日

資本金：14億500万円（2024年3月31日現在）

事業内容：卸売販売、紙製品事業：紙袋・包装紙・紙器・化成品

包装資材事業：ポリ袋・粘着テープ・食品包装資材、紐リボン・その他包装資材

店舗用品事業：POP用品・文具事務用品・店舗雑貨・アパレル関連資材・園芸関連資材

従業員数：812名（連結）（2024年3月31日現在）

URL：<https://www.shimojima.co.jp/index.html>

【インフォマート】

会社名：株式会社インフォマート（東証プライム市場：2492）

代表者：代表取締役社長 中島 健

代表取締役副社長 木村 慎

本社所在地：東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング13階

設立：1998年2月13日

資本金：32億1,251万円（2025年3月末現在）

事業内容：BtoB（企業間電子商取引）プラットフォームの運営

従業員数：732名（連結）、704名（単体）（2025年3月末現在）

URL：<https://corp.infomart.co.jp/>

【本リリースに関する報道関係者様のお問い合わせ先】

株式会社インフォマート（広報部：盛・伊藤（歌）・伊藤（昇）・吉田）

TEL：03-6681-0632 / E-mail：im-pr@infomart.co.jp

